

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成23年4月28日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

平均値と中央値

統計の値の示し方には「平均値」、「中央値」、「最頻値」の3種類があり、多くは「平均値」で表しています。

「平均値」は、全部のデータを合計しデータの数で割った値。データの分布が左右対称であれば、平均値は真ん中の値(中央値)と同じになります。しかし、「平均値」は極端な値の影響を受けてしまう欠点があります。例えば、A氏の預金は1千万円、B氏は3百万円、C氏は1百万円、D氏は20万円とした場合の平均値は355万円。A氏の預金1千万円が平均値に強く影響を与えているということになります。

「平均値との差」・「順位/全体」のほか、「中央値との差」・「順位/全体」で補うことによって、全体の中での位置関係が把握できます。なお、「最頻値」とは、データの出現率が最大の値をいいます。

それでは、「平均値」と「中央値」の2つの値によって、熊本県における雇用者の賃金がどのような状況にあるのかをみてみたいと思います。

参考の統計(調査)は、「**毎月勤労統計調査**」と「**工業統計調査**」、そして「消費者物価地域差指数」です。

下の表(度数分布)は、雇用者が5人以上働いている製造業の都道府県別定期給与額を、「幹葉表示」によって表したもので、熊本県の製造業の賃金は25万3千円。全国平均28万7千円との格差は3万4千円。しかし、中央値の25万7千円との格差は僅か4千円(全国値は東京都、神奈川県、愛知県、大阪府が引き上げている)。熊本県は、全国順位は28番目で、47都道府県の真ん中くらいに位置していることが分かります。

製造業の事業所で働く常用労働者の賃金(事業所規模5人以上)

幹葉表示

出典:毎月勤労統計調査(平成21年平均)
※定期給与とは、所定内給与と所定外給与を加えたもの

定期給与の金額		度数	都道府県名
万円	千円		
38	2	1	東京
37			
36			
35			
34			
33			
32	9	1	神奈川
31			
30	1 5		
29	0 0 5		
28	0 3 4 5 5 7 8 7		
27	2 3 6 8		
26	2 8		
25	1 3 5 6 7 7 8 9 9		
24	2 7 9 9		
23	0 0 7		
22	0 2 5		
21	0 3 5 8		
20	3 6 8		
19	7		

幹葉表示の読み方1: 熊本県の賃金は、幹の部分(25万)と葉の部分(3千円)を加えると、**25万3千円**。
幹葉表示の読み方2: 右の青色で塗った部分は、分布図。

ちなみに、過去の毎月勤労統計調査結果では、熊本県の全国順位は、H9年32番目、H12年32番目、H14年34番目、H15年26番目、H16年27番目、H20年30番目、H21年28番目となっており、全国格差は縮小傾向にあります。

次の表は、平成21年製造業の都道府県別付加価値額を示したものです。平成21年は、世界同時不況のため、前年度比で21.2%も付加価値額が減少していますが、例えば、大分県との比較を例にとれば、減少幅は大分県より小さく、付加価値額は大分県を上回り、例年、熊本県の雇用者賃金は大分県の次順位であったものが、平成21年の統計調査では順位逆転している状況です。

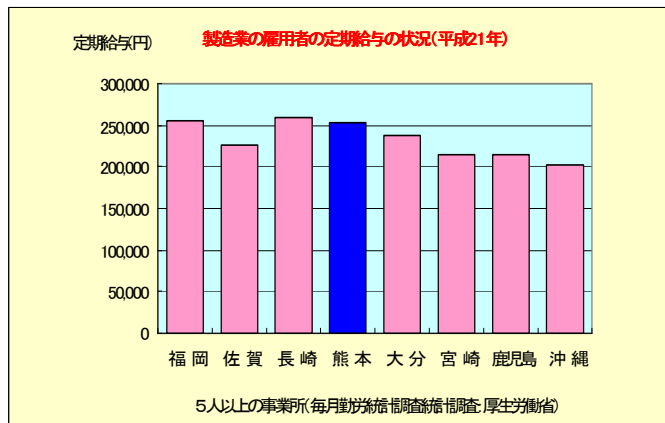
都道府県別 付加価値額

(従業者4人以上の事業所)

都道府県	付 加 価 値 額					
	平成20年			平成21年		
	金 額 (百万円)	前年比 (%)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	前年比 (%)	構成比 (%)
全 国	101,304,661	▲ 6.8	100.0	79,511,356	▲ 21.5	100.0
福 岡	2,280,903	▲ 15.4	2.3	2,314,256	▲ 1.5	2.9
佐 賀	650,915	▲ 10.4	0.6	443,411	▲ 31.9	0.6
長 崎	616,988	2.4	0.6	590,968	▲ 4.2	0.7
熊 本	944,588	▲ 9.3	0.9	743,914	▲ 21.2	0.9
大 分	1,097,557	6.4	1.1	677,531	▲ 38.3	0.9
宮 崎	457,959	▲ 7.4	0.5	371,055	▲ 19.0	0.5
鹿 児 島	709,456	▲ 3.5	0.7	564,126	▲ 20.5	0.7
沖 縄	122,494	▲ 15.1	0.1	156,715	27.9	0.2

注:付加価値額で、従業者4～29人の事業所については粗付加価値額である。

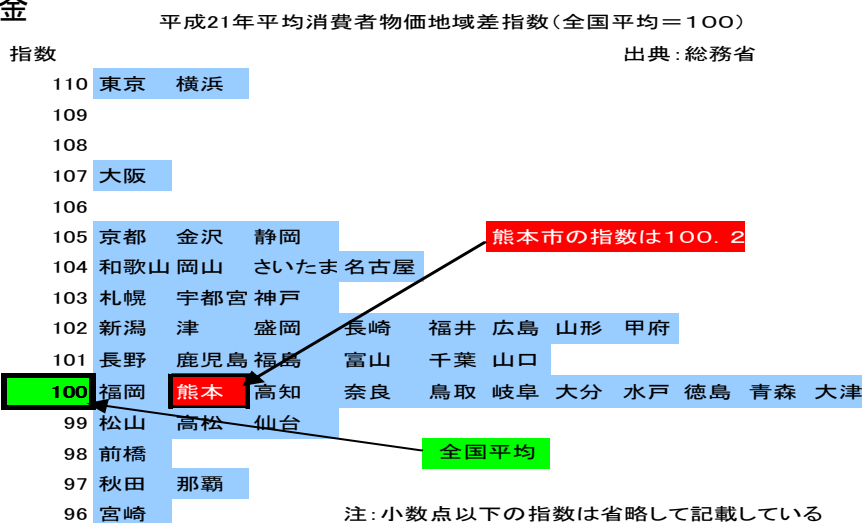
出典:平成21年工業統計調査(経済産業省)



熊本県では産業振興及び雇用の場の確保に資する企業誘致を積極的に推進してきており、平成21年工業統計調査によると、誘致企業の263事業所で1兆3,451億円(県全体の割合57.9%)の製造品出荷額等となっている状況です。前の頁で紹介しましたように、熊本県の雇用者賃金の全国格差は縮小傾向にあります。47都道府県の真ん中くらいの賃金水準にあるのも事実のところでは。

右の表は、消費者物価の地域差を表したものです。熊本県の県庁所在地である熊本市の消費者物価は、以前は全国平均を下回る数値でしたが、平成21年の平均では、全国平均を0.2ポイント上回る指数。前頁の賃金の県別分布図と消費者物価分布図には相似性があります。

熊本市の消費者物価地域差指数は、下から9番目。雇用者賃金は高いとはいえないけれども、自然豊かで暮らしやすい熊本県であるのです。



注:小数点以下の指数は省略して記載している

【豆知識】 表章(ひょうしょう)の語釈……………ここでのヒョウショウは、表彰ではありません

質問:平成22年国勢調査の結果表について、『出生月別人口について、99歳までであった年齢各歳表章を114歳までに延長し、115歳以上を一括表章する』と変更されました。ここで使われている表章とはどういう意味なの？

回答:一般的な語釈では「表章＝区分」みたいですが、的確ではありません。

辞典「大辞林」では、「表章＝表(あらわ)して明らかにすること」と解説されています。統計用語では、「表章産業の公表、表章産業の区分」などに使用。表章＝区分でも、表章＝公表でもありません。

熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、5月27日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先:熊本県企画振興部統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1

電話:096-333-2174 / Fax:096-384-7544 / メール:toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成23年5月27日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

物価で知る私たちの暮らし

○ 小売物価統計調査をご存知ですか？

消費生活において重要な商品の小売価格、サービスの料金及び家賃を毎月調査しています。

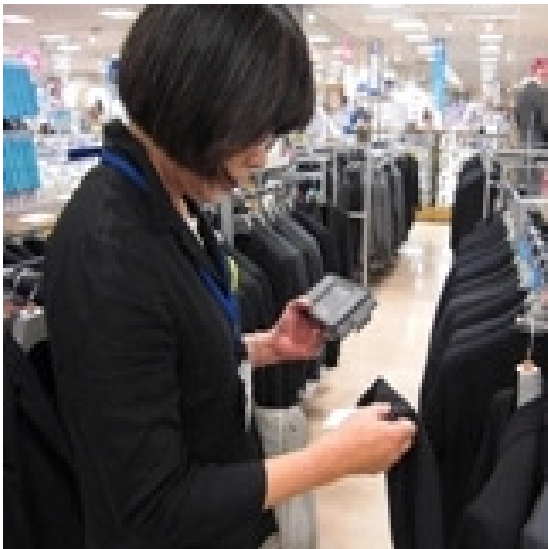
熊本県内の調査対象は約 300 店舗(事業所)及び約 550 世帯(家賃調査)で、熊本市、八代市、人吉市等を実施しており、熊本市の小売価格調査は 525 品目、740 銘柄を調査しています。

調査は、調査区の所在する市町村から推薦を受けて、知事が任命した調査員が、調査対象(店舗・事業所、調査世帯)を訪問し、実施しています。

○ 調査員さんのお一人、楠本薫さんの調査に同行し、話を伺いました。

Q 現在行われている主な調査は？

A 価格調査では、毎月 1 回対象店舗を訪問し、調査品目・銘柄ごとに、商品を手にとり、担当者の方から聞き取りを行ったりして、その内容を携帯情報端末(Personal Digital Assistant 略称:PDA)を使って、調査日における価格・料金等を入力して、報告しています。私は、毎月70品目を担当しています。



Q 調査の際に心がけておられることは？

A 調査対象の店舗から信頼していただくことを大切にしています。まず、第一に売り場の邪魔にならないように、忙しい時間帯やセール期間中を外すなど、お店の状況を考慮しながら調査を行っています。

Q 調査でのご苦労は？

A 品目によって銘柄が指定されていますが、例えば洋服では、夏物、表地毛 100%、A体型、中級品等です。素材の内容は同じであっても中級品扱いなのか迷うことがあります。最近の洋服は、見た目だけでは分からないので、その判断が難しいところがあります。

そして、時には、商品の裏側やタグ等を見ながらPDAを操作していると、「何をしているの？」って聞かれることもありますね。

Q 調査対象の方に一言メッセージをいただけませんか？

A いつもお世話になっております。

長く調査員を務めていることもあり、いつも皆さん快く対応して下さいます。

店舗のご協力があってこそ、この調査は成り立っております。今後ともよろしくお願いします。

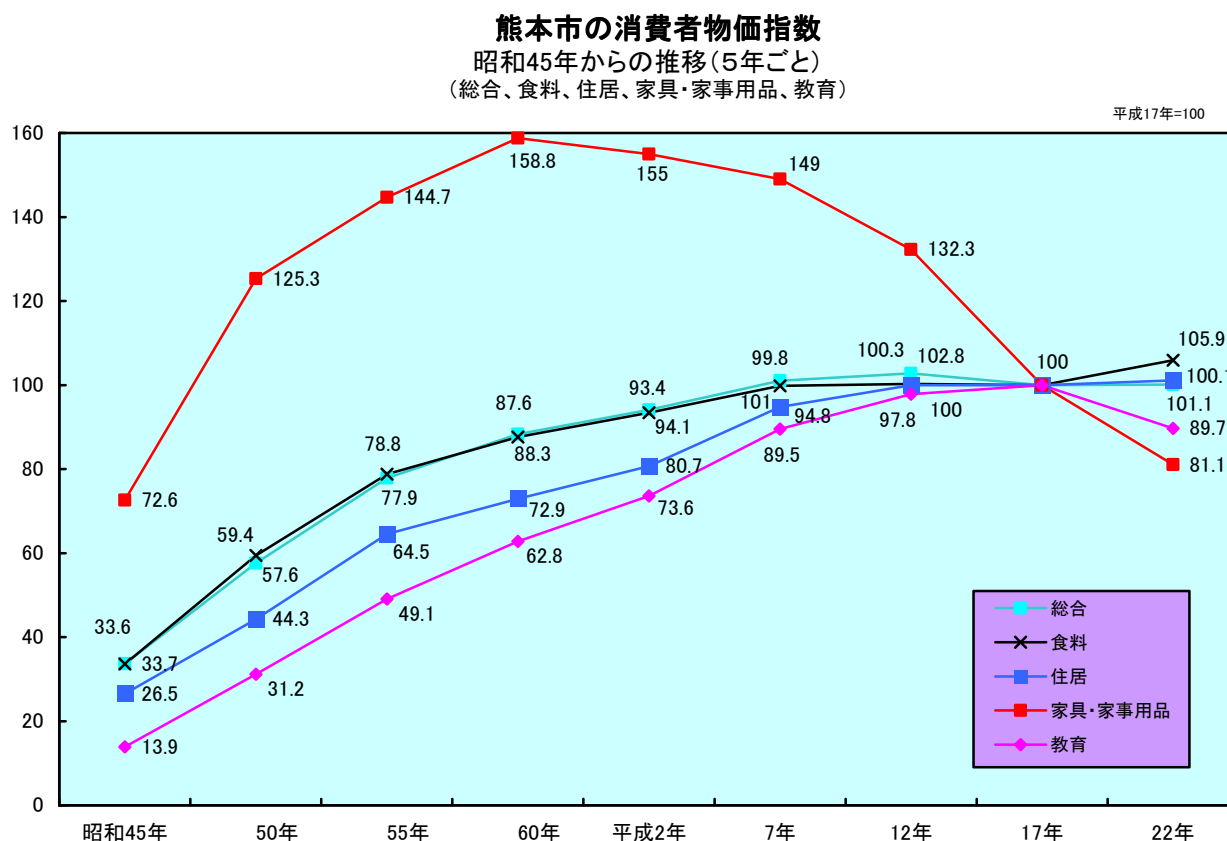
○ 調査の結果により、多くのことがわかります。

調査の結果は、調査を行った翌月の末には公表されており、月々の価格の変化を明らかにするほか、物価水準の変動を測定するため、消費者物価指数(現在は、平成17年=100)を作成し、消費生活に関する経済施策や賃金・年金算出の基礎資料等として、利用されています。

今回は、約40年前の昭和45年から5年毎に、熊本市の消費者物価指数の推移をご紹介します。

「総合」では、昭和45年から平成12年まで上昇し、その後は、100前後で推移しています。

昭和45年(指数33.7)と平成22年(指数100.1)を比べると、約2.97倍となっています。



費目別に見ると、上昇率及び上昇・下落時期等に違いがあります。

「教育(授業料、参考書、学習塾月謝等)」は、昭和45年(指数13.9)と平成22年(指数89.7)を比べると、約6.45倍となっています。ちなみに、平成17年(指数100)に比べると平成22年は大きく減少しています。これは、いわゆる「高校授業料無償化」の実施によるものと考えられます。

「住居(家賃)」は、昭和45年(指数26.5)と平成22年(指数101.1)を比べると、約3.82倍となっています。

「家具・家事用品(電化製品、寝具、台所用品等)」は、昭和45年(指数72.6)と平成22年(指数81.1)を比べると、約1.12倍となっており、上昇率が小さくなっています。また、昭和60年(指数158.8)をピークに大幅に下落しています。

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、6月24日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成23年6月24日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

なぜなぜ統計 ～統計の見方と用語の意味～

統計を見る場合には、実際の数字だけではなく、どのように調査が行われたか、その数値はどんな意味を持つのかを確認しなければ、統計の持つ本来の意味を見誤る場合があります。

そこで、県民の皆様からよく問い合わせがある統計の見方や用語の意味を一部紹介します。

●全数調査(センサス)と標本調査

調査対象全てを調査することを全数調査といい、高い精度がありますが、コストや時間がかかります。調査対象の一部を調査し、全体を推計する調査を標本調査といい、標本抽出をきちんと行えば、全数調査に比べるとコストと時間面で有利で精度も保てます。詳細については以下のURLで説明しています。

http://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/life/1018480_1078019_misc.pdf(統計アラカルト)

〔全数調査: 国勢調査、経済センサス、農林業センサス等
標本調査: 毎月勤労統計調査、労働力調査、家計調査等〕

●名目、実質、デフレーター？

経済成長率には「名目」と「実質」という2つの表示方式があります。

「名目」…市場価格を基にした数値で最も実感に近いもの。全体の構成比等に利用する。

「実質」…名目の数値から価格上昇や下落などの物価変動を取り除いた数値。異なる年度間の比較等に利用する。

「デフレーター」名目値と実質値の間の価格変動分を調整する指数。

詳しくは、http://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/life/1045039_1084287_misc.pdf(県民経済計算)

●原指数、季節調整済指数？

「原指数」…基準年の月平均を100として算定する数値。季節要因(連休や、盆休み、夏はジュースやアイスが売れ、冬は暖房器具が売れる等)による変動があり、前月との比較は単純にできない。主に前年同月の比較に用いる。

「季節調整済指数」…原指数から季節要因を取り除いた数値。算出方法としては①月ごとの平均値から算出する月別平均法、②月ごとの前月比を計算し、その前月比の平均値から算出するパーソンズ法、③1か月の移動を平均する12か月移動平均法等があり、主に、同じ年の各月の比較に用いる。

●常用労働者とパートタイム労働者

毎月勤労統計調査等で、常用労働者とは、1ヶ月以上で月18日以上雇われた人のことで、正規従業員だけではなく、常時雇用するという意味で、ごく短期間勤める人でなければ、常用労働者となります。

パートというイメージがアルバイトや臨時などの正社員でない人というイメージがありますが、統計でいうパートタイム労働者は、①1日の労働時間が一般労働者より短い場合、②1日の労働時間が一般労働者と同じでも所定の労働日数が短い場合をいいます。

●国勢調査と住民基本台帳人口

代表的な人口の統計としては、国勢調査と住民基本台帳人口があります。

国勢調査は5年ごとに10月1日現在の外国人を含めた実際に住んでいる人の数を数えます。

住民基本台帳人口は、月末現在の住民基本台帳の数を数えるため、生活の本拠がない人も住民票を移動していなければカウントされます。

同じ人口の統計でも基準日の違い数の数え方の違いがあります。

●推計人口調査と住民基本台帳人口

推計人口調査は、国勢調査が実施されない5年間の人口の推移を補間するための調査です。推計の方法は直近の国勢調査を基に住民基本台帳と外国人登録の人口動態(出産、死亡、転入、転出)の数値を増減します。

前述したように、数の数え方が違うため以下のような事例が発生する場合があります。

国勢調査時点 10月1日にA市に住民票がある人が県外B市に居住しており、翌月県外C市に転居し、住民票を移した場合は、下記の表のようになります

図1

	国勢調査日(10月1日)時点		
	A市	B市	C市
国勢調査	0	1	0
住民基本台帳人口	1	0	0

図1の国勢調査時点では、数の数え方の違いにより国勢調査と住民基本台帳人口に違いが発生しています。

図2で実際の移動した場合と住民基本台帳上の数値の増減を表しています。

図2

	移動状況		
	A市	B市	C市
実際の移動	0	-1	+1
住民基本台帳人口	-1	0	+1

図3では移動後の推計人口と住民基本台帳人口を表しています。住民票を基に推計するため、住んでいないが住民票があるA市ではマイナスに、住んでいるが住民票がなかったB市はいないので1残ったままになっています。

このようなケースも考えられるため、その年ごと、月ごとの推移を見るには推計人口、長期の人口の推移を見るには国勢調査等、利用方法により使い分ける必要があります。

図3

	移動後		
	A市	B市	C市
推計人口	-1	1	1
住民基本台帳人口	0	0	1

●家計調査のランキング

よく新聞やテレビ等で都道府県では何が一番購入されているかを公表しています。その基になるのが家計調査ですが、実は都道府県ごとではなく都道府県の県庁所在地と政令都市のランキングなのです。

家計調査は抽出調査であり、市町村すべてが対象でないため、調査対象が多く精度が保てる県庁所在地等による比較を行っています。

ここで説明したことは公表データのはじめや最後に説明してあることが多くあります。統計を利用する際は、調査内容を確認したうえで統計を利用されることをお勧めします。

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、7月29日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成23年7月29日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



平成23年社会生活基本調査が実施されます

あなたは、いつも何時に起きて、何時ごろ布団に入っていますか。熊本県民の主な行動の平均時刻をみると、平日の起床時刻は午前6時35分、就寝時刻は、午後10時58分となっています。

日曜日になると、さすがにゆっくり寝たいと思う人が多いのか、起床は午前7時10分、就寝時刻は、午後10時51分と平日よりも早くなっています。

全国と比べてみると、いずれの時刻も早くなっており、早寝早起きの県民といえそうです。

そのほかの時刻については、下表のとおりとなっています。

平日の「朝食開始時刻」と日曜の「出勤時刻」を除き、全国より行動開始時刻が早くなっています。特に、平日の「出勤時刻」及び「帰宅時刻」については、47都道府県中第5位、平日の「就寝時刻」については同じく第11位と早くなっています。

熊本県民の曜日別にみた主な行動の平均時刻

～「平成18年社会生活基本調査」より～



	平日 〇時〇分		土曜 〇時〇分		日曜 〇時〇分	
	熊本県	全国	熊本県	全国	熊本県	全国
起床時刻	6:35	6:39	7:05	7:07	7:10	7:23
朝食開始時刻	7:14	7:12	7:29	7:33	7:42	7:46
出勤時刻(有業者)	8:15	8:28	8:46	8:53	9:28	9:27
帰宅時刻(有業者)	18:25	18:58	17:58	18:25	18:31	18:35
夕食開始時刻	18:58	19:09	18:48	18:53	18:34	18:46
就寝時刻	22:58	23:16	23:15	23:20	22:51	23:04

このように、私たちの生活行動や生活時間を調査し、さまざまな行政施策に役立てようというのが、5年ごとに実施される社会生活基本調査です。この調査は昭和51年の開始以来、5年ごとに実施されており、今回は第8回目となる調査の概要を紹介します。

■ 調査の目的は？

○国民のライフスタイルの実態を明らかにします

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分や自由時間等における主な活動について調査し、仕事や家庭生活に費やされる時間、地域活動との関わりなど国民の社会生活の実態を明らかにすることにより、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的としています。

■ 今回の調査のねらいは何ですか？

○ワーク・ライフ・バランスや地域コミュニティ活動など、社会的ニーズの高い事項についての把握の充実。

今回の調査では、少子高齢化や非正規職員の増加などの就業構造の変化が進み、我が国の社会経済状況が

大きく変化する中で、ワーク・ライフ・バランスの状況や地域コミュニティ活動の実態把握の充実とともに、生活時間の国際比較性の向上を図るなど、よりの確に社会生活の実態をとらえることをねらいとしています。

■ 調査はどのように実施されますか？

○10月20日現在で実施します

なお、一日の生活時間の配分に関する調査は、10月15日から23日までの9日間のうち指定した連続する2日間の行動について行います。

○10歳以上の世帯員が対象です

調査の対象は、熊本県内では無作為選定の約1,600世帯です。

全国では、無作為に選定した約8万4千世帯(10歳以上の世帯員約20万人)です。

○調査は調査員を通じて行います

調査は、「総務省—都道府県—指導員—調査員—調査世帯」の流れで、**調査員が調査世帯ごとに調査票を配布し、回収する方法**により行います。

また、今回、インターネットによる回答も**一部可能**とします。

■ どのようなことを調査するのですか？

○国民の生活時間の配分や自由時間等における主な活動について調査します

- (1) 1日の生活時間の配分に関する事項
- (2) 過去1年間の生活行動(①～⑤)に関する事項
 - ① 学習・研究 ② ボランティア活動
 - ③ スポーツ ④ 趣味・娯楽 ⑤ 旅行・行楽
- (3) ふだんの就業状態等世帯員の属性に関する事項
- (4) 住居の種類等世帯の属性に関する事項

○調査は2種類の調査票により行います

1日の生活時間の配分に関する調査は、①行動をあらかじめ決められた分類に当てはめて記入するプリコード方式の調査票(調査票A)のほか、②日誌のように自由に記入するアフターコード方式の調査票(調査票B)を用いて行います。

調査票Aについては、大規模な標本で調査し、地域別集計や家族類型を詳細に区分した集計を行います。

調査票Bについては、標本規模は小さいものの、行動を詳細に区分できることから家事時間などの詳細な分析が可能となるほか、アフターコード方式が国際的に主流となっていることにも対応し、生活行動の国際間比較が可能となります。



■ 今回の調査で充実させたことは何ですか？

○最近の社会経済情勢の変化を踏まえた調査の充実を図ります

- (1) ワーク・ライフ・バランスの分析に資する調査事項として、勤務形態、年次有給休暇の取得日数、就業希望時間、育児支援の利用状況などを追加します。
- (2) 労働時間の分析に資する事項として、個人の年間収入やふだんの健康状態を追加します。
- (3) 地域コミュニティ活動等に関する統計の整備の観点から、各種の「ボランティア活動」について、NPOや地域に根付いた組織との関わりや、1回の活動当たりの平均時間を把握します。
- (4) ワーク・ライフ・バランスや、育児・介護に関する集計を充実させます。
- (5) 国際比較性の向上のため、生活時間に係る行動分類を細分化して集計します。

■ 参考リンク

[総務省統計局 社会生活基本調査のページ](http://www.stat.go.jp/)

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、8月26日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成23年8月26日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

夏の節電対策で注目の **緑のカーテン**づくり 来年も挑戦しよう！！



熊本市の環境総合研究所のグリーンカーテン
(熊本市HPから引用)

今年の夏は、「アサガオ」、「ヘチマ」、「つるレイシ」、「ウリ」などのツル性植物の苗を買い求めて、「緑のカーテン」づくりに挑戦する家庭が多かったようです。

苗の「定植」が遅かった、日当たりが悪いため成長が追いついていない「緑のカーテン」も目にしました。あなたのご家庭では、立派な「緑のカーテン」ができあがり野菜などの収穫もできましたか？

筆者のところでは、梅雨明け後に栽培を始めたために「緑のカーテン」は穴だらけの状態です。しかし、自然の葉っぱのカーテンは良いですね。猛暑の夏、貧弱だけど青々とした葉っぱを見るだけで心が洗われます。

毎朝・夕に水をやり、追肥をしているうちに、「へちま」には幾つかの「雄しべの花」が咲き、遅れて「雌しべの花」が咲き、見事に受粉。今、30cm位の「へちま」が1本ぶら下がっているのです。摘芯は実施した方が「花」のつきが良いようです。他には「クロウリ」も一緒に栽培中です。でも残念なことに、「ニガゴリ」は、成長を急がせるあまり肥料をやり過ぎて、枯れてしまいました。このことを反省して、来年度は5月に挑戦してみようと思います。

「緑のカーテン」が完成するまでには2ヶ月間程度かかるので、遅くとも6月中旬までには「定植」することが必要です(カライモ:甘藷の苗植えも同じですよ)。そうすると外気温より2℃くらいは下げる効果があることになります。来年は早めに取り掛かろうと思っています。

さて、筆者が栽培に失敗した「ツルレイシ」について、紹介します。

「ツルレイシ」は、以前、熊本地方では「ニガゴリ」と呼ばれていましたが、生鮮品(野菜)コーナーでは「レイシ」や「ゴーヤ」と表示されていることが多いようです。

正式和名は「ツルレイシ」と呼びます。

「レイシ」の生産量を知るためには、[農林水産省のHP\(統計\)](#)にアクセスし、「生産」の分野の「作物統計」の中の「地域特産野菜生産状況調査」を開いてみましょう。

「地域特産野菜生産状況調査」は、統計法に規定の「一般統計調査」に属し、47都道府県において生産される多様な野菜の生産状況等を把握することを目的とする統計調査です。



都道府県別 にがうり生産量

都道府県名	栽培面積 (ha)	収穫量 (t)	割合		出荷量 (t)			(生食用)			(加工用)		
					施設	露地	計	施設	露地	計	施設	露地	計
全国計	1,025	25,271	100		13,865	8,391	22,265	12,464	6,661	19,125	1,390	1,664	3,054
沖縄	368	8,432	33.4	第1位	5,349	1,783	7,132	4,070	426	4,496	1,279	1,357	2,636
宮崎	150	4,368	17.3	第2位	2,548	1,412	3,959	2,518	1,403	3,920	30	9	39
鹿児島	183	3,741	14.8	第3位	1,479	1,613	3,092	1,439	1,437	2,875	40	177	217
熊本	84	2,620	10.4	第4位	2,183	108	2,291	2,183	108	2,291	-	-	-
その他	240	6,110	24.1		2,306	3,475	5,791	2,254	3,288	5,542	41	121	162

出典:農林水産省「地域特産野菜生産状況調査(平成20年産地域特産野菜生産状況)」

平成20年の収穫量では、沖縄県(8,432トン)が第1位で、全国の収穫量2万5,271トンの3分の1以上(33.4%)を占め、熊本県は宮崎県、鹿児島県に次いで、第4位となっています。

熊本県の栽培の特徴としては、出荷量の区分に見られるように、①施設栽培が95.3%を占めていること、②全てが「生食用」となっていることです。

「レイシ」の加工用とは、本場沖縄県では、ゴーヤ茶、栄養補助食品、ゴーヤカレー、ゴーヤマヨネーズ、ゴーヤドレッシング、ゴーヤふりかけ、ゴーヤちんすこう、

ゴーヤ黒糖などに加工し、販売されているようです。

次に、熊本県内の「レイシ」の生産状況をご紹介します。

熊本県では「熊本市」が最も多く70%の生産状況で、山鹿市と益城町を大きく引き離しています。

都道府県名	主 要 市 町 村					
	1位	割合	2位	割合	3位	割合
熊本	熊本市	70.0	山鹿市	11.0	益城町	10.0
宮崎	西都市	45	宮崎市	24	都城市	7
鹿児島	薩摩川内市	10	出水市	10	鹿児島市	8
沖縄	糸満市	16	今帰仁村	15	宮古島市	11

【豆知識】

野菜の栽培方法には、「施設」と「露地」の2つがあります。

◎「施設栽培」

「ガラス室」栽培…ガラスで被覆された施設で、その中で栽培される作物の肥培管理を人が通常の作業姿勢でその中に入ったまま行いうる棟高を有する施設で栽培するもの。

「ハウス」栽培……塩化ビニルフィルム、ポリエチレンフィルム、硬質プラスチックフィルム、硬質プラスチック版、寒冷しゃ等のガラス以外のもので被覆された施設で、その中で栽培される作物の肥培管理を人が通常の作業姿勢でその中に入ったまま行いうる棟高を有する施設で栽培するもの。

◎「露地栽培」

「雨よけ施設」……保温を目的とするものではなく、雨による作物のぬれ等を防止するとともに、かん水によって養水分吸収を適正に調節することを目的として、露地栽培において簡易なパイプハウス又は支柱兼用の簡易な傘型フレームで作物の上部のみを被覆し、栽培するもの。

「トンネル栽培」……上記の「ハウス」で定める被覆資材で被覆された施設で、その中で栽培される作物の肥培管理を人が通常の作業姿勢でその中に入って行えない高さのトンネルで栽培するもの。

熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、9月30日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先:熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1

電話:096-333-2174 / Fax:096-384-7544 / メール:toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成23年9月30日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



湯けむり熊本



いい湯だな



秋分の日を過ぎ、最近では一時期の暑さが和らいで、ずいぶん秋の気配が感じられるようになりました。

秋といえば「読書の秋」、「食欲の秋」、「スポーツの秋」と楽しみがたくさんありますが、行楽シーズンでもあります。

特に熊本県は各地域に特色のある温泉があり、旅行などで温泉を訪れる方も多いのではないのでしょうか。ドライブを兼ねて少し遠方の温泉を楽しむもよし、近場の温泉や銭湯に立ち寄るもよし、涼しくなるこれからの季節、お湯にゆっくりつってリラックスしたいものです。

それでは、熊本のお湯事情を統計調査から見てみましょう。

まずは家計調査の過去3年間(平成20年から平成22年まで)のデータから、家計支出中に占める「温泉・銭湯入浴料」を見てみることにします(二人以上の世帯、都道府県庁所在地及び政令指定都市別データ)。全国から見た順位は近年下がってはいるものの、熊本(熊本市)の家計に占める「温泉・銭湯入浴料」は、全国でも上位にあることがわかります。

H20 温泉・銭湯入浴料

順位	都市名	金額(円)
1	青森市	5,891
2	盛岡市	5,365
2	富山市	5,365
4	甲府市	4,022
5	熊本市	3,902
6	札幌市	3,897
7	金沢市	3,884
8	奈良市	3,698
9	秋田市	3,416
10	福井市	3,326

H21 温泉・銭湯入浴料

順位	都市名	金額(円)
1	金沢市	6,006
2	福井市	4,380
3	長野市	4,333
4	松山市	4,145
5	青森市	3,839
6	熊本市	3,640
7	甲府市	3,482
8	京都市	3,411
9	岐阜市	3,377
10	奈良市	3,285

H22 温泉・銭湯入浴料

順位	都市名	金額(円)
1	金沢市	5,421
2	福井市	5,079
3	青森市	4,927
4	富山市	4,739
5	盛岡市	4,640
6	岐阜市	3,867
7	鹿児島市	3,575
8	名古屋市	3,264
9	長野市	3,257
10	前橋市	3,249
11	甲府市	3,176
12	熊本市	2,898

総務省統計局「家計調査」より

それでは、温泉や銭湯の数はどうでしょうか。平成21年7月に実施された「**経済センサス基礎調査**」の結果から、浴場業を営む事業所数(民営事業所)を見てみましょう。熊本県全体の「一般公衆浴場業」(銭湯業)を営む事業所数は、全国順位から見るとほぼ中間に位置しています。一方、「その他の公衆浴場業」(温泉浴場業、鉱泉浴場業、健康ランドなど)に該当する事業所数は、全国から見て上位10位に入る多さです。この他に、旅館・ホテルを主として営む事業所にも温泉や立ち寄り湯を備えているところがありますので、入浴施設の数としてはこれより多くなるかもしれません。

公衆浴場業

順位	都道府県名	事業所数
	全国	4,294
1	東京都	816
2	大阪府	670
3	北海道	352
4	神奈川県	228
5	京都府	182
	↓	
20	新潟県	49
20	熊本県	49
22	岐阜県	47
23	静岡県	39
24	奈良県	38
	↓	
42	高知県	14
42	宮崎県	14
44	茨城県	12
45	島根県	7
45	佐賀県	7
47	沖縄県	5

その他の公衆浴場業

順位	都道府県名	事業所数
	全国	3,646
1	東京都	309
2	大阪府	201
3	北海道	174
4	神奈川県	170
5	愛知県	170
6	鹿児島県	135
7	兵庫県	129
8	埼玉県	128
9	福岡県	127
10	熊本県	123
	↓	
41	岡山県	27
42	鳥取県	25
43	徳島県	25
44	佐賀県	23
45	奈良県	21
46	福井県	18
47	高知県	17



今年の秋は熊本のお湯につかりながら、こうした統計データに思いをめぐらせてみてはいかがでしょうか？

総務省・経済産業省「経済センサス基礎調査」より



平成24年2月「経済の国勢調査」が行われます！！

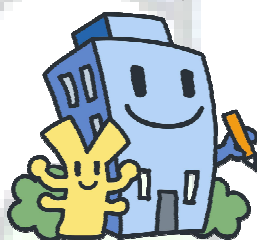
～経済センサス活動調査～

昨年10月に行われた国勢調査は皆さんの記憶に新しいかと思いますが、今年度は、平成24年2月1日現在で“経済の国勢調査”とも言うべき「平成24年経済センサス活動調査」が行われます。

この「平成24年経済センサス活動調査」は、全国すべての事業所・企業を対象に、売上高や費用等の経理項目の把握を重点に置いて調査するもので、“日本経済の「いま」”を知るために今回初めて行われる、全国一斉の大規模調査です。※先に述べた「経済センサス基礎調査」は、平成21年7月に事業所数や従業者の数等に重点を置いて行われたもので、その情報を基に今回の「経済センサス活動調査」が行われます。

この調査の結果から、事業所や企業の経済活動の実態が地域別・産業別に明らかになるとともに、国内総生産（GDP）等の推計や地域の街づくりに必要なデータとして各方面で活用されます。

ビルくんとケイちゃん



調査の詳細については
「経済センサス総合ガイド」をご覧ください↓

経済センサス総合ガイド

検索

<http://www.stat.go.jp/data/e-census/guide/index.htm>

◆経済センサスキャンペーンサイトが開設されました！

9月1日に経済センサスキャンペーンサイトが開設されました。

平成24年2月の調査実施日に向けて、随時更新されていきますので、是非ご覧ください！

こちらからご覧いただけます。→<http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm>

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、10月28日（金曜日）に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax:096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成23年10月28日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

平成22年国勢調査人口等基本集計からみる熊本県

平成22年10月1日現在の国勢調査人口等基本集計が公表されました。
国勢調査の結果などから熊本県を比較すると以下のような結果が得られます。

都道府県から見る熊本県(都道府県・九州比較3P参照)

熊本県の平成22年10月1日現在の人口は、**1,817,426**人です。

日本全国の人口は128,057,352人で平成17年から289,358人の増加になっていますが、都道府県別の増加をみると東京都など9都府県以外は減少しており、都市部やその周辺に人口が集中する状況が見られます。

全国から見ると熊本県は人口総数23位と中間ぐらいの順位ですが、都道府県平均人口2,724,625人を下回っています。

平成17年からの増減を見ると24,807人少なく(△1.35%)、前回(平成17年)に続き減少しています。
人口の規模、増減の推移を順位から見るとほぼ中間に位置しています。

面積7,404.73km²で15位、人口密度245.4人/km²で27位となっています。

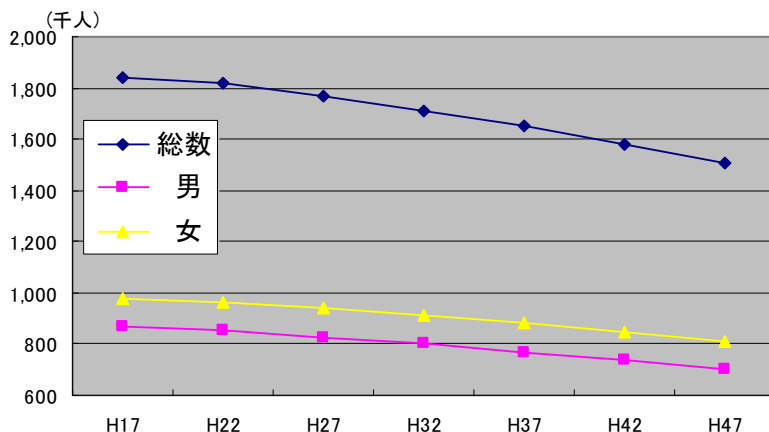
九州内で比較すると、福岡県、沖縄県以外人口は減少しており、熊本県は人口総数2位ですが、減少率は3番目に高くなっています。

市町村の人口増減から見る熊本県(市町村別人口増減4P参照)

熊本県内市町村の人口増減を地図に見ますと、菊陽町、大津町、西原村、合志市、嘉島町、熊本市の順で増加率が高く、熊本市近郊の市町村への人口集中がみられます。また、その他の39市町村はすべて減少しており、減少率が10%を超える自治体もあります。

熊本県の将来推計人口

国立社会保障・人口問題研究所において、将来推計人口(平成19年5月推計)を公表しており、平成47年には1,509千人まで減少すると推計されています。

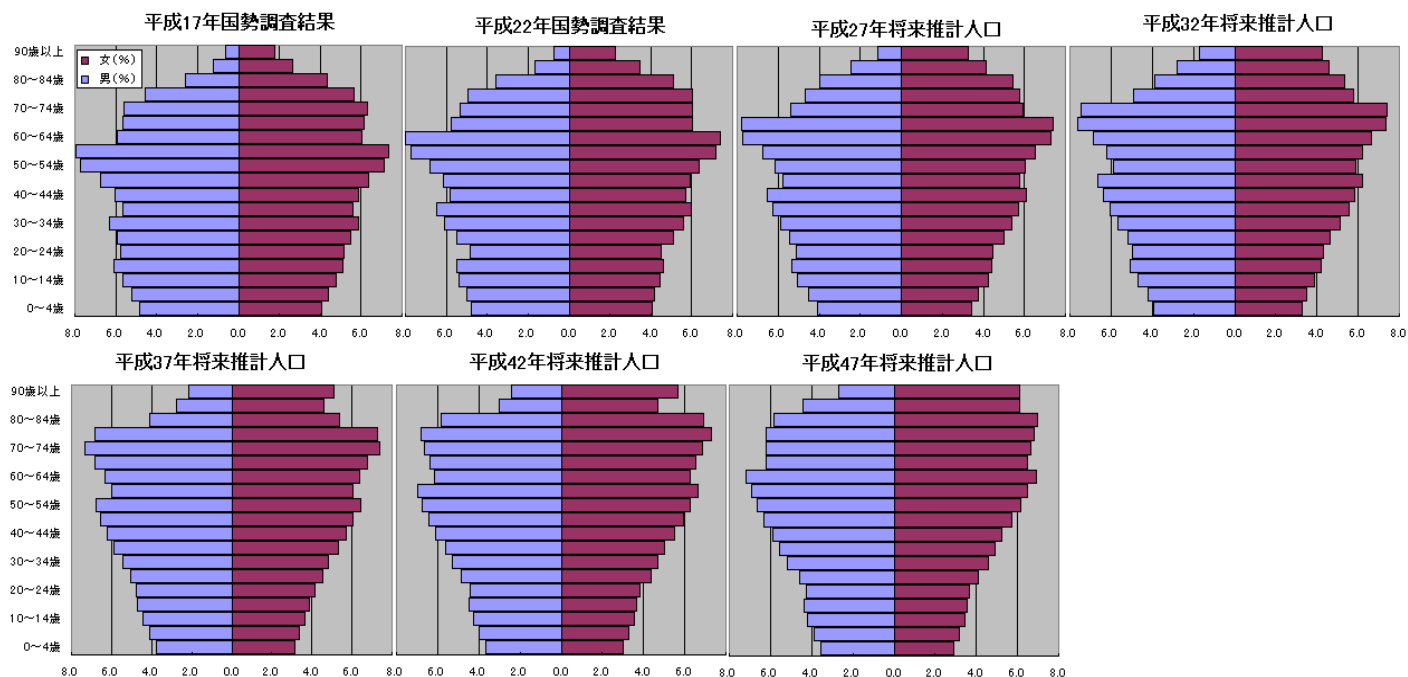


国立社会保障・人口問題研究所 (<http://www.ipss.go.jp/index.asp>)

国勢調査結果と将来推計人口による人口ピラミッド

人口ピラミッドは、平成17年の国勢調査から見ていくと、出生数の減少と高齢者の増加が年々大きくなっています。

今後、少子化が解消されない限り高齢化社会へと進んでいくことが分かります。



国勢調査の詳細なデータについて

当課ホームページ「熊本県のデータ」内に、熊本県の主要な国勢調査結果と要約、今後の公表予定を掲載しております。

また、「政府統計の総合窓口」には都道府県の詳細なデータが掲載されています。

熊本県統計調査課「熊本のデータ」平成22年国勢調査結果

<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/h22kokutyo.html>

総務省「政府統計の総合窓口」平成22年国勢調査

<http://www.e-stat.go.jp/estat/html/kokusei/NewList-000001039448.html>

今回は、主に熊本県の状況を紹介しましたが、国勢調査には市町村ごとの結果も公表されております。国勢調査の結果が公表されたこの機会に、ぜひ自分の住んでいる市町村について調べてみてはいかがでしょうか？

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、11月25日（金曜日）に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

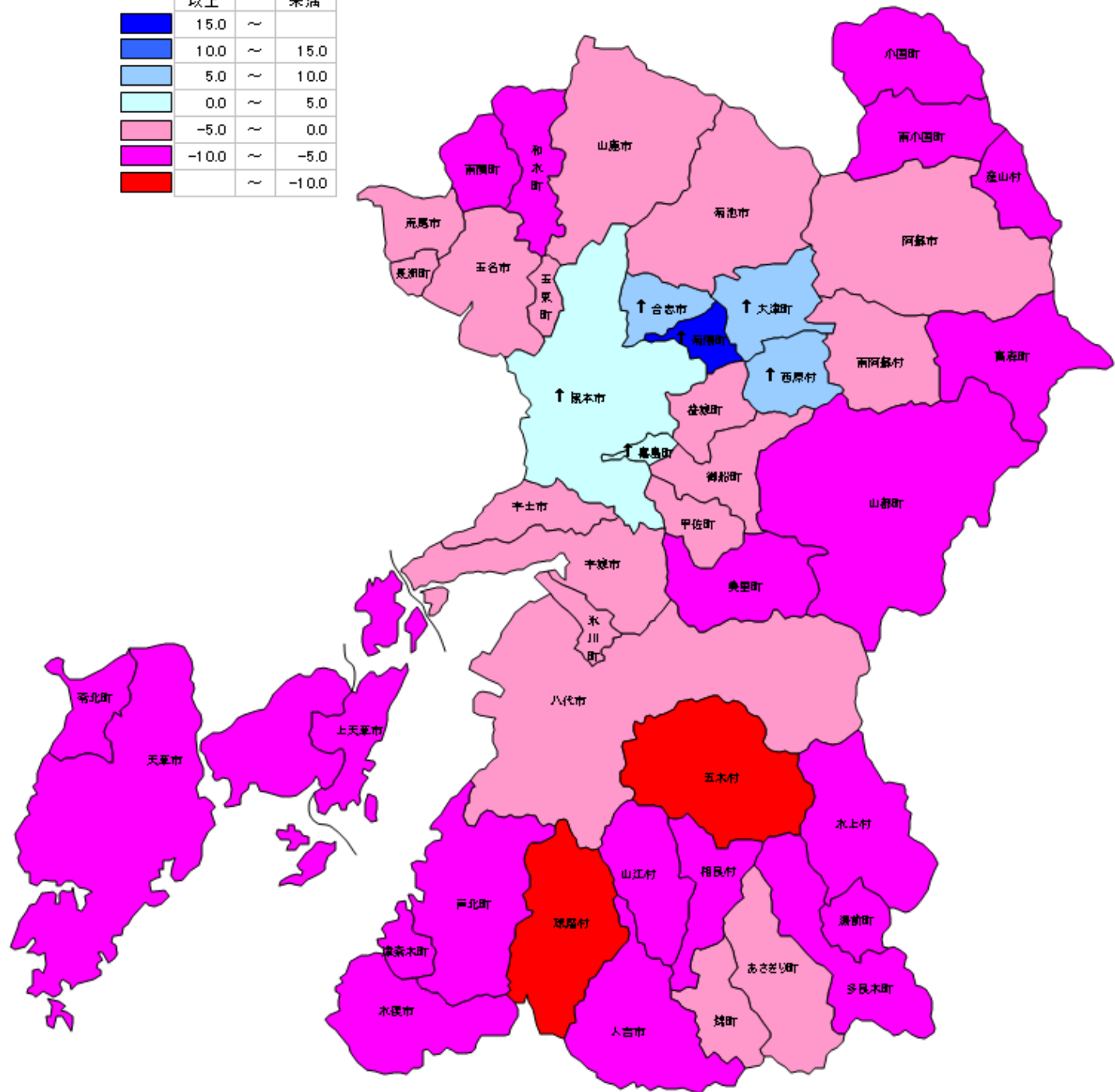
電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

都道府県・九州比較

	人口									面積					
	総数	全国 順位	九州 順位	H17からの 増減数	全国 順位	九州 順位	H17からの 増減率	全国 順位	九州 順位	面積(k㎡)	全国 順位	九州 順位	人口密度 (1 k㎡当たり)	全国 順位	九州 順位
全国	128,057,352			289,358			0.226			377,950.10			343.4		
北海道	5,506,419	8		△ 121,318	47		△ 2.156	31		83,456.87	1		70.2	47	
青森県	1,373,339	31		△ 63,318	46		△ 4.407	46		9,644.54	8		142.4	41	
岩手県	1,330,147	32		△ 54,894	42		△ 3.963	44		15,278.89	2		87.1	46	
宮城県	2,348,165	15		△ 12,053	16		△ 0.511	15		7,285.76	16		322.3	19	
秋田県	1,085,997	38		△ 59,504	44		△ 5.195	47		11,636.25	6		93.3	45	
山形県	1,168,924	35		△ 47,257	40		△ 3.886	43		9,323.46	9		125.4	42	
福島県	2,029,064	18		△ 62,255	45		△ 2.977	37		13,782.76	3		147.2	39	
茨城県	2,969,770	11		△ 5,397	12		△ 0.181	11		6,095.72	24		487.2	12	
栃木県	2,007,683	20		△ 8,948	13		△ 0.444	14		6,408.28	20		313.3	22	
群馬県	2,008,068	19		△ 15,928	21		△ 0.787	20		6,362.33	21		315.6	21	
埼玉県	7,194,556	5		140,174	5		1.987	7		3,798.13	39		1,894.2	4	
千葉県	6,216,289	6		159,827	3		2.639	3		5,156.70	28		1,205.5	6	
東京都	13,159,388	1		582,777	1		4.634	1		2,187.50	45		6,015.7	1	
神奈川県	9,048,331	2		256,744	2		2.920	2		2,415.86	43		3,745.4	3	
新潟県	2,374,450	14		△ 57,009	43		△ 2.345	32		12,583.81	5		188.7	34	
富山県	1,093,247	37		△ 18,482	26		△ 1.662	27		4,247.61	33		257.4	25	
石川県	1,169,788	34		△ 4,238	11		△ 0.361	12		4,185.66	35		279.5	23	
福井県	806,314	43		△ 15,278	19		△ 1.860	28		4,189.83	34		192.4	32	
山梨県	863,075	41		△ 21,440	28		△ 2.424	33		4,465.37	32		193.3	31	
長野県	2,152,449	16		△ 43,665	38		△ 1.988	30		13,562.23	4		158.7	38	
岐阜県	2,080,773	17		△ 26,453	32		△ 1.255	22		10,621.17	7		195.9	30	
静岡県	3,765,007	10		△ 27,370	33		△ 0.722	19		7,780.42	13		483.9	13	
愛知県	7,410,719	4		156,015	4		2.151	6		5,165.04	27		1,434.8	5	
三重県	1,854,724	22		△ 12,239	17		△ 0.656	18		5,777.27	25		321.0	20	
滋賀県	1,410,777	28		30,416	8		2.203	5		4,017.36	38		351.2	15	
京都府	2,636,092	13		△ 11,568	14		△ 0.437	13		4,613.21	31		571.4	10	
大阪府	8,865,245	3		48,079	6		0.545	8		1,898.47	46		4,669.7	2	
兵庫県	5,588,133	7		△ 2,468	10		△ 0.044	10		8,396.13	12		665.6	8	
奈良県	1,400,728	29		△ 20,582	27		△ 1.448	24		3,691.09	40		379.5	14	
和歌山県	1,002,198	39		△ 33,771	35		△ 3.260	40		4,726.29	30		212.0	29	
鳥取県	588,667	47		△ 18,345	25		△ 3.022	39		3,507.28	41		167.8	37	
島根県	717,397	46		△ 24,826	31		△ 3.345	41		6,707.95	19		107.0	44	
岡山県	1,945,276	21		△ 11,988	15		△ 0.612	17		7,113.21	17		273.5	24	
広島県	2,860,750	12		△ 15,892	20		△ 0.552	16		8,479.58	11		337.4	18	
山口県	1,451,338	25		△ 41,268	37		△ 2.765	36		6,113.95	23		237.4	28	
徳島県	785,491	44		△ 24,459	29		△ 3.020	38		4,146.67	36		189.4	33	
香川県	995,842	40		△ 16,558	22		△ 1.636	26		1,876.53	47		530.7	11	
愛媛県	1,431,493	26		△ 36,322	36		△ 2.475	34		5,678.18	26		252.1	26	
高知県	764,456	45		△ 31,836	34		△ 3.998	45		7,105.16	18		107.6	43	
福岡県	5,071,968	9	1	22,060	9	2	0.437	9	2	4,977.24	29	5	1,019.0	7	1
佐賀県	849,788	42	8	△ 16,581	23	4	△ 1.914	29	6	2,439.65	42	7	348.3	16	3
長崎県	1,426,779	27	4	△ 51,853	41	8	△ 3.507	42	8	4,105.33	37	6	347.5	17	4
熊本県	1,817,426	23	2	△ 24,807	30	6	△ 1.347	23	4	7,404.73	15	3	245.4	27	5
大分県	1,196,529	33	6	△ 13,042	18	3	△ 1.078	21	3	6,339.71	22	4	188.7	34	6
宮崎県	1,135,233	36	7	△ 17,809	24	5	△ 1.545	25	5	7,735.99	14	2	146.7	40	8
鹿児島県	1,706,242	24	3	△ 46,937	39	7	△ 2.677	35	7	9,188.78	10	1	185.7	36	7
沖縄県	1,392,818	30	5	31,224	7	1	2.293	4	1	2,276.15	44	8	611.9	9	2

市町村別人口増減

増減率(%)		
以上		未満
15.0	～	
10.0	～	15.0
5.0	～	10.0
0.0	～	5.0
-5.0	～	0.0
-10.0	～	-5.0
	～	-10.0



統計アラカルト

熊本の統計情報 平成23年11月25日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



ライバルは ルクセンブルク?!

ルクセンブルクって知っていますか？ むかし地理で習ったような・・・良く覚えていないかも。

正式にはルクセンブルク大公国といって、西ヨーロッパのフランスとドイツとベルギーとに挟まれた小さな国です。鉄鋼業や金融業でメキメキ成長し、今や世界でもトップレベルの豊かな国なんです。

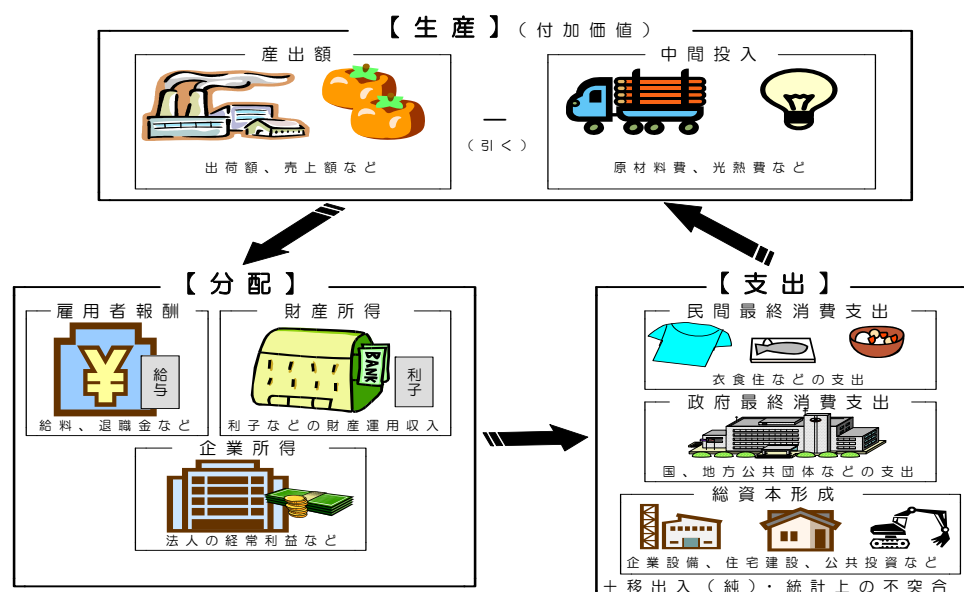
ところで、どこがライバルかって？ 実は熊本県の経済の大きさが、ルクセンブルクとほぼ同じなんです。ちなみにルクセンブルクは、2009年のGDP(国内総生産)が世界第63位、熊本県の経済は63位の国と同じくらいというわけです。けっこう凄くないですか？

さて、今回は経済の大きさをどうやって計算しているかというお話です。

GDP(国内総生産)は、国際基準に基づいて、日本も含めた世界の国々が毎年計算していますが、このGDPの都道府県版が「県民経済計算」です。熊本県だけではなく都道府県や政令市が毎年計算を行って金額を発表しているんです。「県民経済計算」のことを知れば世界の見方がちょっと変わるかもしれません。

経済は循環している

経済とは言ってみれば「お金の流れ」。



- ① 企業などがモノやサービスをつくる(生産)
- ② 労働者に賃金を、企業に利潤を支払う(分配)
- ③ 家計や企業がモノやサービスを買う(支出)

左の図のようにこの活動を繰り返しています。

つまり、「お金」=「経済」とは「生産」「分配」「支出」を繰り返して循環しているわけです。

実際はもうちょっと複雑ですが、県民経済計算は循環する経済を金額で表したものです。

いったい何がわかるの？

では、県民経済計算によって何が分かるのでしょうか？ これは県民経済計算の目的でもあります。

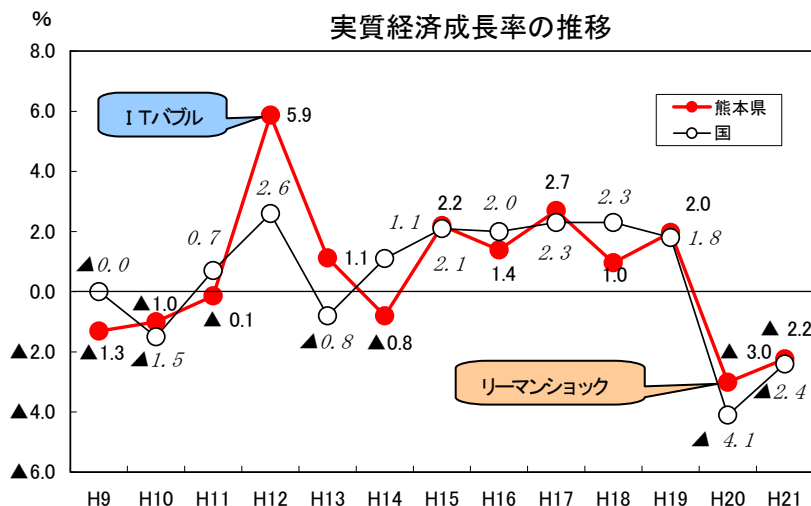
1 熊本県の経済規模

平成21年度の熊本県の県内総生産は5兆3661億円。これに近いのが世界第63位のルクセンブルグの4兆9489億です。ちなみに、熊本県は、平成20年度の都道府県順位では第25位です。（平成21年度はまだ数字が出ていない都道府県が多くて分かりません）

2 経済の成長率

年度の数字が分かれば、過去との比較ができますね。これが**経済成長率**になります。実際には物価の変動を調整した数字で比較します。調整する前の数値を「**名目値**」、調整した後の数値を「**実質値**」と言います。

熊本県の経済成長率（実質）の推移は左の図で分かります。国の成長率も動きは割と似ています。しばらくはプラスが多かったけど、平成20年度から下がっていますね。残念です！



3 県内産業の特徴や変化

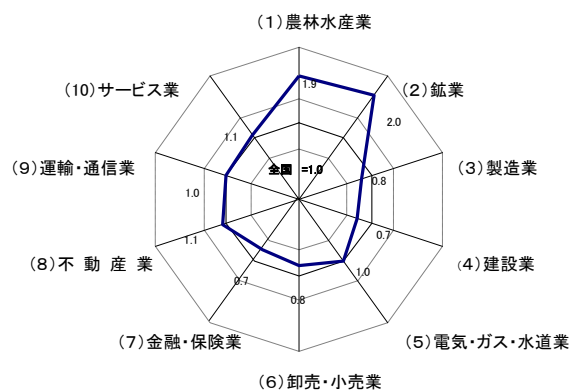
県民経済計算は**産業別の金額も分かる**ので、どの産業が盛んだとか産業別の成長率も分かります。

右の図は各産業が全産業に占める割合を熊本県と全国を比較した表です。**全国を1とした熊本県の値＝特化計数**を線で結んでいます。

ある産業の特化計数が 2.0 なら、その産業の割合が全国平均の2倍であり、その産業が全国平均に比べて盛んだと言えます。

これで見ると、**熊本県は農林水産業と鉱業が全国平均を上回り、製造業や建設業、金融・保険業が少し下回っている**ことが分かります。

熊本県の産業特化状況 ※特化係数で比較



もっと詳しく教えて！

その言葉が聞きたかったんです。

難しい用語も出てきましたが、ここで説明したことは**県民経済計算**のほんの一部なので、興味がわいた方はもっと詳しく解説している**ココ**をご覧ください。また、分からないことがあれば、お気軽に下記の問合せ先にお電話ください。**県民経済計算の直接の担当は情報解析班 096-333-2176(直通)**です。

熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、12月22日(木曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成23年12月22日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

日本経済の「いま」を教えてください！！

～平成24年 経済センサス－活動調査 が行われます～

みなさん！平成24年2月1日は何の日かご存知ですか？

2月1日は、「**経済の国勢調査**」とも言うべき、**経済センサス－活動調査の初めての実施日**です！

すべての事業所や企業を対象に行われるこの調査は、みなさんのお勤め先や行きつけのお店も調査対象となります！！

今回は、間近に迫った経済センサス－活動調査に関して、皆さんが疑問に思われるようなポイントを集めてみました！

◇調査票はいつ頃、事業所に届きますか？

平成24年1月中旬頃から配付を開始し、1月中にはお手元にお届けします。

調査票は以下のいずれかにより配付します。

- ①調査員が直接事業所・企業を訪問してお届けする方法
- ②国・県・市から直接郵送してお届けする方法

ビルくんとケイちゃん



◇調査票はどのように提出するのでしょうか？

調査票の受け取り形態により、以下のいずれかで提出をお願いします。

- ①調査員が直接お伺いした事業所等においては、後日調査員が回収に伺いますので調査員にお渡しください。
- ②郵送で調査票が届いた事業所等においては、同封された返信用封筒を使用して提出をお願いします。

※支社等を有する企業等で、事前にご希望いただいていた企業等は、インターネットを利用したオンライン提出により調査票提出をお願いします。

◇調査票を見られたくないのですが・・・？

この調査に関わる調査員や国、地方公共団体の職員には、統計法により守秘義務（調査によって知った情報を他に漏らしてはならない義務）が課され、それに違反すると罰則が与えられます。

調査票に記入していただいた内容は、**統計目的以外（例えば税金の資料など）には絶対に使用する**

ことはありませんので、ありのままを調査票に記入してください。

もし、どうしても不安な場合は、調査票を配付した際の封筒に調査票を封入するなどして調査員にお渡しください。封筒に封入された調査票は、調査員が開封することなく市町村に封筒ごと提出されます。

◇調査内容が難しそうで記入できそうにありませんが・・・？

調査票と一緒に配りした、「調査票の記入のしかた」には、各項目の記載方法が詳しく説明してあります。「調査票の記入のしかた」を参考にご記入いただきますようお願いします。

また、「経済センサスー活動調査 コールセンター」が開設されており、電話による質問に対応しています。調査期間中はつながりにくい時間帯もございますので、余裕をもっておかけください。

平成24年経済センサスー活動調査 コールセンター

0120-44-1034(通話料無料)

050からはじまるIP電話など、フリーダイヤルに接続できない場合は↓

03-6830-1034(有料)

受付時間：午前9時から午後9時まで※12/29～1/3を除き、土・日・祝日も利用できます。

◇調査員に回収に来てもらう日時を約束した後、その日時を変更したい場合は？

事業所所在地の市町村役場(統計担当課)にお電話をお願いいたします。
折り返し、担当調査員などからお電話をさせていただきます。

◇調査員と名乗る人物が訪ねて来ましたが、

本当に調査員でしょうか？



この調査に従事する調査員は、必ず「調査員証」を携帯しています。「調査員証」の提示を求め、調査員かどうかを確認されてください。少しでも不審に思われた場合は、調査票をすぐに渡したり口頭で調査項目の内容を答えたりせず、事業所所在地の市町村役場などに至急連絡してください。また、調査票の配付や回収など、調査の実施にあたって国や県、市町村、調査員などが事業所や企業の皆様に金品を要求することは一切ありませんので、万が一そのような事態に遭われた場合は、至急市町村役場などにご一報ください。

◆ 楽しく知ろう！経済センサスー活動調査！！ ◆

経済センサスについて楽しくわかりやすく知ってもらうため、経済センサスキャンペーンサイトが開設されています。

初めてこの調査の名前を聞いた方も、既にご存知の方も、楽しく閲覧できますので、是非ご覧ください！

こちらからご覧いただけます。→<http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm>

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、1月27日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成24年1月27日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

大寒の頃は寒さがつのる 熊本の温泉に行こうよ

くまモンは露天風呂に入ってるもん

「約半月ごとの季節の目安である二十四節気」は、現在の暦(グレゴリオ暦)の月日を決めているのと同じように、太陽の動きを元にして決められています。しかし、「二十四節気」は、約2600年前の中国(黄河地方)の気候に基づいて作られた暦であるため、日本の気候とは多少のずれが生じてしまいます。それでも、日本では、正確な季節を知って農業(路地栽培)を行うためには欠かせないものとなっているのです。

さて、「二十四節気」における「冬」は、冬の気配が感じられる「立冬」→ 寒くなって雨が雪になる「小雪」→ 雪がいよいよ降り積もってくる「大雪(たいせつ)」→ 昼が一年中で一番短くなる「冬至」→ 寒の入りで、寒気が増してくる「小寒」→ そして、冷気が極まって、最も寒さがつのる大寒(だいかん:平成24年1月21日)の6節気。つまり、平成23年11月8日から平成24年2月3日までの88日間は冬ということになります(でも、2月4日以降もまだまだ寒いですよ)。

さて、1年のうちで一番寒い節気のときは、温泉に浸かって、「心も体もぽっかぽっかになるのがいいですね」。そうということで、今月号は「温泉」に関する統計情報について、ご案内します。

第25回 にっぽんの温泉100選

順位			温泉名	所 在	平成23年 得票数
平成23年	平成22年	平成21年			
1	1	1	草津	群馬県	942
2	3	4	湯布院	大分県	873
3	2	3	登別	北海道	841
4	4	5	黒川	熊本県	735
5	5	2	指宿	鹿児島県	717
52	77	86	阿蘇	熊本県	223
-	-	84	杖立	熊本県	
87	89	-	平山	熊本県	66
-	-	96	菊池	熊本県	
96	-	-	人吉	熊本県	44

※旅行のプロが選んだ温泉ランキング

(出典:週刊 観光経済新聞)



「にっぽんの温泉100選」は、旅行会社社員など"旅のプロ"が選んだ温泉ランキングで、1年に1回実施、発表されています。

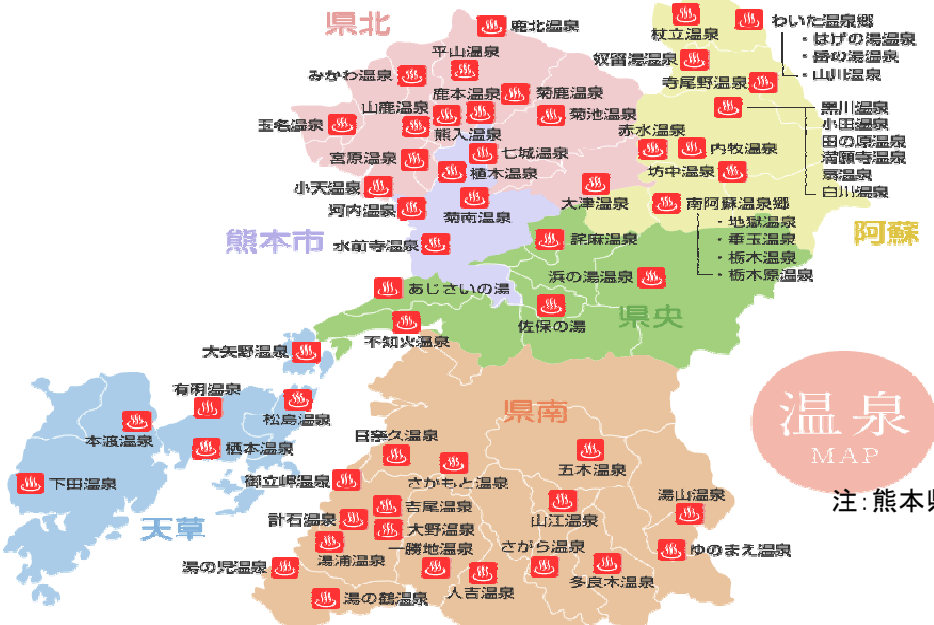
専用投票ハガキを全国の旅のプロに配布し、投票「(1) 雰囲気 (2) 知名度 (3) 泉質 (4) 施設の完備等を選んだ理由」するもので、第25回にっぽんの温泉100選は、有効回収ハガキ13,857枚にもとづいて、審査委員会(観光9団体)が認定した権威あるものです。

熊本県内では、黒川温泉は、堂々の2年連続第4位となっており、そのほかにも阿蘇温泉、平山温泉(山鹿市)、人吉温泉が入選し、平成21年には杖立温泉、菊池温泉も選ばれているなど、熊本県は全国有数の温泉県であるのです。

平成21年度末現在、熊本県内には、142の温泉地(宿泊施設のある温泉がある場所)、1,369の源泉数があり、全国第5位の温泉県です(ただし、源泉全体のうち45.1%の源泉(618)は未利用)。

温 泉 利 用 状 況							(平成22年3月末現在)				
都道府県名	温泉地数	源泉数	源泉数 順位	利用源泉数			利用源泉 数順位	湧出量 (L／分)			自噴率
				自噴	動力	計		自噴	動力	計	
北海道	260	2,279	3	423	928	1,351	3	101,386	166,054	267,440	37.9
青森県	150	1,123	6	100	542	642	7	13,909	141,892	155,801	8.9
福島県	140	788	8	144	316	460	8	31,649	60,263	91,912	34.4
長野県	229	1,008	7	296	445	741	6	45,326	72,058	117,384	38.6
静岡県	114	2,232	4	104	1,063	1,167	4	13,837	110,952	124,789	11.1
熊本県	142	1,369	5	134	617	751	5	25,033	107,720	132,753	18.9
大分県	67	4,790	1	1,074	3,236	4,310	1	137,296	160,931	298,227	46.0
鹿児島県	100	2,753	2	410	1,231	1,641	2	62,531	136,573	199,104	31.4
21年度 全国計	1,202	16,342		2,685	8,378	11,063		430,967	956,443	1,387,410	31.1

(出典：環境省自然環境局自然環境整備担当参事官室「温泉利用状況」)



注：熊本県観光サイト「なごみ紀行」から引用

熊本県内の「温泉」や「温泉利用施設をもつ旅館や公衆浴場など251施設」などを紹介している「熊本県温泉協会(事務局：県庁健康福祉部薬務衛生課内)のホームページ」の情報は、とっても役に立つと思います。熊本県温泉協会HPは右のHPアドレスをクリックしてください <http://www8.ocn.ne.jp/~kok322pr/>

【豆知識】「温泉法」にいう「温泉」とは、「鉱泉」、「地中から湧出する水蒸気、その他のガス」を包含し、「鉱泉」は、泉温によって(冷鉱泉：泉温25℃未満)(低温泉：25℃以上34度未満)(温泉：34度以上42度未満)(高温泉：42度以上)区分されています。その他、液性(PH値)等による分類も。

熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。
次回の「統計アラカルト」は、2月24日(金曜日)に掲載予定です。
問合せ先：熊本県企画振興部統計調査課交通政策・情報局 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1
電話：096-333-2174 / Fax:096-384-7544 / メール:toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成24年2月24日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

幸せって何？～みんなで考えてみよう～

近年、国や社会の政策目標に、「幸福度」或いは「生活満足度」が使われるようになってきました。

「幸福度」を具体的に表したものが「幸福度指標」といい、個々人の「幸福」をある程度、地域、時系列で比較可能にしたツールであると評されています。

GDP(国内総生産)を超えた指標であるという「幸福度指標」の作成は、日本だけでなく、諸外国において進んでいます。例えば、チベットとインドに囲まれた小国(総人口約70万人)のブータン王国では、「国民総幸福量調査(GNH調査: Gross National Happiness 調査)」が2010年に実施されています。

GDPの解説は、平成23年11月25日号の統計アラカルトを参照ください。

(写真出典: 外務省HP)



ヒマラヤを背にしたブータン北部の町 (写真提供: 関健作/JICA)

国民総幸福量(GNH)という独自の考え方を国家の指標として打ち出し、世界中から熱い視線を集めるブータン王国。

昨年11月に国賓として国王夫妻が来日しましたが、顔立ち・表情がおだやかで、和服に似た伝統の着物が良く似合い、とても

も親近感が持てましたね。ブータンの1人当たりの国民総所得(GNI)は、日本の約6分の1の5,290米ドル(「World Health Statistics 2011: 世界保健統計 2011」)と世界88位ですが、ブータン王国の国勢調査(2005年)ではブータン国民の約97%が「幸せ」と回答しています。(日本は世界19位の33,470米ドル/同統計。OECD: 経済協力開発機構加盟34カ国の平均生活満足度は59%に対し、日本は40%。(2009年調査))

国民総幸福量 (GNH)

GNHの4本柱

- 1 持続可能で公平な社会経済開発
- 2 環境保護
- 3 文化の推進
- 4 良き統治

GNH指標の9分野

- 1 心理的な幸福
- 2 国民の健康
- 3 教育
- 4 文化の多様性
- 5 地域の活力
- 6 環境の多様性と活力
- 7 時間の使い方とバランス
- 8 生活水準・所得
- 9 良き統治

ブータン王国の国民総幸福量の指標 (出典: 外務省HP)

さて、法政大学大学院政策創造研究科の坂本光司教授と研究室の社会人学生10名のグループは、ブータン王国の「国民総幸福量（GNH）」の考え方を参考に、「幸福度」という視点で、様々なわが国の社会経済統計を活用して、47都道府県の幸福度を40の指標から評価・分析。10段階で評点したランキングを2011年11月9日に発表（「日本でいちばん幸せな県民」というタイトルの本を出版）しています。「40の指標」は、地域住民の幸福度を端的に示していると思われる指標ごとに上位から順にランキングを付すとともに、総合計を10段階評価（1～10点）をしたというものです。

〔40の指標〕

- **生活・家族部門／9 指標**……1. 出生率 2. 未婚率 3. 転入率 4. 交際費比率 5. 持ち家率 6. 畳数 7. 下水道普及率 8. 生活保護比率 9. 保育所定員比率
- **労働・企業部門／10 指標**……10. 離婚率 11. 労働時間 12. 有業率 13. 正社員比率 14. 就業希望者比率 15. 就業期間 16. 完全失業率 17. 障がい者雇用比率 18. 欠損（赤字企業）比率 19. 平均工賃月額
- **安全・安心部門／12 指標**……20. 刑法犯認知件数 21. 公害苦情件数 22. 交通事故件数 23. 出火件数 24. 労働災害率 25. 地方債現在高 26. 負債現在高 27. 貯蓄現在高 28. 老人福祉費 29. 手助け必要者比率 30. 悩みストレス比率 31. 相談できない人比率
- **医療・健康部門／9 指標**……32. 休養時間 33. 趣味娯楽時間 34. 医療費 35. 病床数 36. 医師数 37. 老衰死亡者 38. 自殺死亡者数 39. 平均寿命（男） 40. 平均寿命（女）

熊本県は総合平均点は6.55点で、47都道府県の中で、幸福度総合ランキングは第5位で、「安心して暮らせる住みやすい県」と評価されています。

部門別にみると、『安全・安心部門』が全国**1位**。「医療・健康部門」が**3位**（※合計特殊出生率は1.58人で第3位。※平均寿命（女）は86.54歳で第3位。（男）は79.22歳で第10位。※10万人当たり病院＋診療所の病床数は2330.8で第10位。※10万人当たり医師数258.4人で第12位。）

ところで、内閣府の「幸福度に関する研究会」が、「幸福度指標試案」報告書の中で、「幸福度の捉え方は地域の特性によって大きく異なり、地域における幸福度は、各地域の特性に応じて自ら検討される性質のものである。」と述べています。

熊本県では、平成23年7月に「くまもと幸福量研究会」（リーダー：熊本学園大学商学部 坂本 正 教授）から提出された「県民幸福量を測る指標についての意見書」の考え方を基に、独自の指標の作成に関する調査研究を進めています。【参考：<http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/80/kouhukuryou-ikensyo.html>】

魅力的な就業空間、生活空間、学習空間、コミュニティ、安全・安心空間、医療・福祉空間、行政が創られて、県民の誰もが暮らしやすさを実感できる熊本になるといいですね。

、ー47都道府県幸福度ランキングー

順位	都道府県名	評点平均
1	福井県	7.23
2	富山県	7.20
3	石川県	6.90
4	鳥取県	6.63
5	熊本県	6.55
5	佐賀県	6.55
7	長野県	6.48
8	島根県	6.35
9	三重県	6.25
10	新潟県	6.18
11	滋賀県	6.13
12	香川県	6.10
13	岐阜県	6.08
14	山梨県	6.05
15	大分県	6.05
16	山口県	6.00
17	徳島県	6.00
18	広島県	5.95
19	山形県	5.93
20	静岡県	5.93
21	愛知県	5.90
22	岩手県	5.88
23	長崎県	5.88
24	岡山県	5.83
25	群馬県	5.80
26	栃木県	5.75
27	福島県	5.73
28	愛媛県	5.73
29	宮崎県	5.73
30	茨城県	5.68
31	奈良県	5.65
32	和歌山県	5.63
33	千葉県	5.53
34	神奈川県	5.53
35	鹿児島県	5.45
36	宮城県	5.43
37	秋田県	5.40
38	東京都	5.38
39	福岡県	5.28
40	青森県	5.25
41	沖縄県	5.20
42	京都府	5.18
43	北海道	5.15
44	埼玉県	5.08
45	兵庫県	5.03
46	高知県	5.00
47	大阪府	4.75

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、3月30日（金曜日）に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部統計調査課交通政策・情報局 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成24年3月30日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

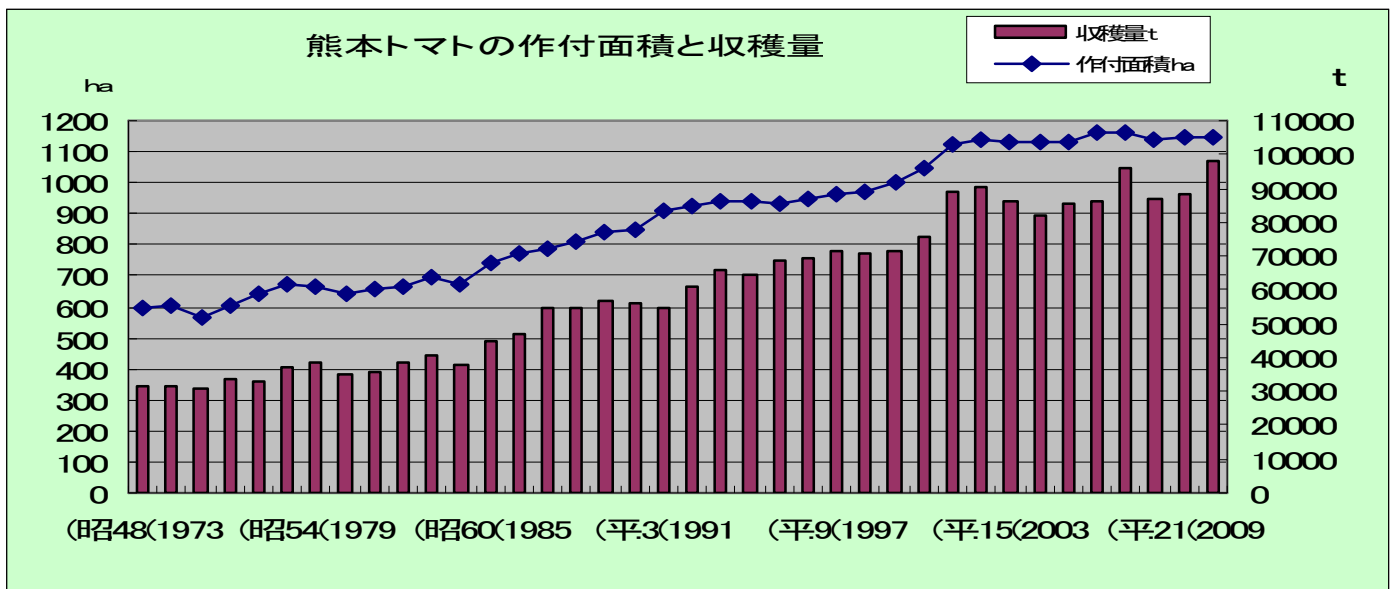
トマトが赤くなると医者が青くなる

京都大学大学院農学研究科の河田教授らが「トマトから脂肪肝や高中性脂肪血症などの脂質代謝異常の改善に有効な新規成分を発見し、それを肥満マウスに投与して顕著な改善効果が得られることを確認した」研究成果が、平成24年2月10日(日本時間)に米国のオンライン科学誌に掲載された直後から、店頭から「生トマトやトマトジュースが品薄状態となった」というニュースを見聞きました。



農業県熊本においても、その現象があるのだろうか？ 買い物のついでに、複数店舗のトマトジュースのコーナーをのぞいて見たところ、値段が高いトマトジュースは残数があるものの、安価なトマトジュースは1本も見当たりありません。約2ヶ月経った今日でも安価なトマトジュースは在庫切れの状態です(トマトが入った野菜ミックスジュースは、栄養価が高いのに、不思議にもいっぱい並んでいるのです)。

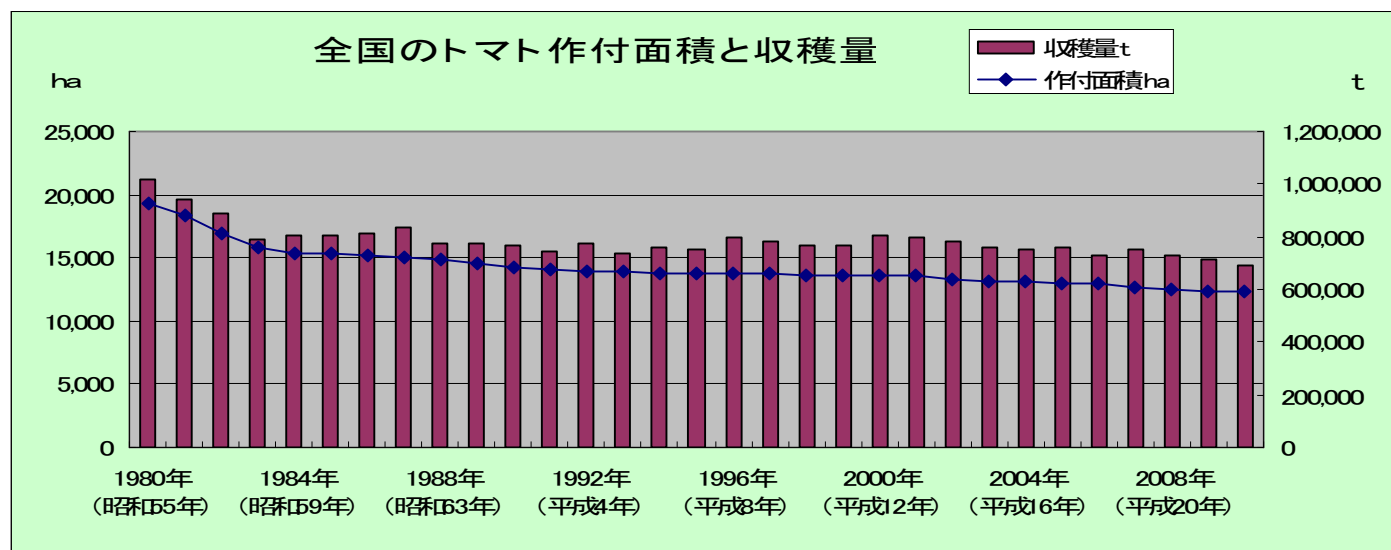
さて、昨年6月25日号の統計アラカルト「**熊本県はトマトの生産量が日本一**」にアクセスしてくれた東京の女子中学生から「**私は熊本のトマトが大好きです。熊本のトマトを夏休みの研究テーマにしています。**」という嬉しいメールが届いたり、地元熊本のテレビ局からは「**現在もトマトは日本一の生産量なんですか？**」というお尋ねがありました。そこで、「熊本県はトマトの生産量が日本一」の第2弾として、「熊本のトマト」についての情報を紹介することにしました。



(出典: 農林水産省の作物統計)

上記のグラフは、昭和48年産から平成22年産までの熊本県内におけるトマトの作付面積と収穫量を年次で捉えたものです。面積・収穫量は「冬春トマト」+「夏秋トマト」の合計数量で、ミニトマトも含んでいます。

下記グラフのとおり、全国の昭和55年産のトマト収穫量が101万4千トンであったものが、平成22年産では約69万トンにまで落ち込み、作付面積・収穫量は減少傾向にあります。熊本県はトマトの指定産地として、毎年右肩上がりに作付面積も収穫量も上昇し続けています。



熊本のトマトは、昭和55年産では全国第7位であったものが、昭和62年産では5位。昭和63年産では3位。その後は平成元年から平成4年産まで2位が続き、ついに平成5年産で日本一となり今日(平成22年産)まで不動の位置を保ち続けているのです。

平成22年産に全国収穫量に占める熊本トマトの割合は14.3%(昭和63年の約2倍)。全国2位が北海道(夏秋トマト生産が主流)、3位が愛知県、4位が千葉県となっています。

さて、「野菜王国くまもと」の「トマト」が18年間も全国1位を保ち続けている背景には、指定野菜の集団産地の指定を受け、生産、出荷及び価格安定を図るための農家などの関係者のたゆまぬ努力があるのです。

【熊本県内のトマト指定産地一覧】

区 分	指 定 産 地 名
冬春トマト	八代 玉名 宇城
夏秋トマト	宇土熊本 八代 宇城 阿蘇中部 阿蘇 上益城



熊本県内の冬春トマトの収穫期は、10月下旬～6月下旬。

一方、夏秋トマトの収穫期は、7月上旬～11月下旬。トマトの旬は夏。今年の夏は、太陽の光をいっぱい浴びた完熟トマトを冷やして食べてみませんか。甘くてジューシーなトマトほど、水に沈むほどに良く、全体の色が均一で赤が濃く、皮にハリがあるトマト。またヘタやガクの部分がピンとしていて元気がよく、枯れていないトマトが新鮮ですよ。

冬春トマトは、サラダやピザなど食生活の洋風化が進み、一年間を通して需要が増えて、周年の供給に向けて産地化が拡大しました。熊本県は、完熟系のトマトを冬季の温暖で日照の多い気候を活かすハウス栽培で、大都市圏(東京・大阪など)へ出荷しているのです。

熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、4月27日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部統計調査課交通政策・情報局 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp